

各方面への聴取概要（8月分）

団 体	聴 取 要 旨
<p>【事業者】 県内経済団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性について「正しく理解している」人は少ない。そのためには、まずは「知る」こと、そして 知って理解につなげることが大切である。また、入口を広げるためには、分かりやすい表現を心掛ける必要がある ・これからはLGBTに理解のない企業に、人材は集まらなくなる。 ・経営者を含む年配の人と、若者では性の多様性に関する意識にギャップがある。若い就労者が働き続けやすくなるよう、条例を制定し周知する必要がある。 ・事業所において注意すべきこと、何がよくて何がいけないのか、どういうことから始めるのかなど、経営者が性の多様性について勉強し、理解してもらうための働きかけや、そうした場（機会）が必要。 ・これまでの常識を全て否定するのではなく、選択でき、多様な考え方が認められることが望ましい。 ・改正労働施策総合推進法によるLGBTに関するパワハラ防止対策の強化やセクハラ防止対策強化について、団体から経営者に周知することが必要。 ・条例をつくることは、（性の多様性を認め合う社会を）みんなで目指し、意識を高めていく大きな一歩となる。 ・企業の取組の好事例を顕彰し水平展開できるよう、条例に記載してはどうか。 ・「多様な性的指向・性自認に関する職員ガイドライン」は非常に分かりやすく、このようなものがあると、事業者等に知ってもらいやすい。
<p>【事業者】 県内労働組合（連合）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの防止についても、法改正がされることで、各企業の意識が変わってきた。SOGIについての条例の制定は、非常に意味があると思う。 ・職場は人生の多くを過ごす場となりえ、上司、部下などの上下関係もあり、SOGIハラなどが起こりやすく、条例においても職場のことは重要である。 ・職場環境については、上司、部下の関係だけでなく、働く仲間の関係性も非常に大切である。 ・理解を深める教育啓発とともに、禁止とすることによる意識づけが必要と考える。 ・カミングアウトの強制やアウティングは、人生を否定したり、命に関わる場合があったりするので、そのつもりはなかったでは済まされないものであるため、カミングアウトの強制やアウティングの禁止を盛り込むべきである。 ・個別企業の好事例などの事例を集めるとよい（協力したい）。 ・条例を機にメッセージ性のある発信をしていくことも重要である。

※あくまで現段階で聴取をした学校の事例であり、県立高校の全体の状況を示すものではありません。

団 体	聴 取 要 旨
<p>【学校】 県立高校 ※対応事例有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者本人や保護者の思いを聞き取るだけでなく、他の生徒の反応も大事にしながら、生徒一人ひとりの思いに寄り添う姿勢を大事にしている。 ・校長、担任、養護教諭、他の先生などみんなで相談しながら、本人、保護者や他の生徒などとも対話をしつつ、場面、場面で丁寧に対応を検討している。 (担任の先生と校長先生もコミュニケーションを密にとられ、学校全体で対応していることがうかがえた。) ・担任が周りの生徒への理解の促し方などについて尋ねたい場合に、外部の機関で相談できる先がないか困ったことはある。 ・性の多様性に限らず、多様な価値観を認め、生徒一人ひとりの違いを尊重し、サポートすることが重要である。生徒も教員も誰も、一人にしないということが大事である。 ・集団生活の中で、差別や偏見がでてくることがあるが、これを学校全体の課題ととらえ、学びにつなげている。 ・学年ごとに講演会をし、性の多様性や、アウティングをしてはいけないことも伝えている。
<p>【学校】 県立高校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校とも、性の多様性については、出来る範囲では対応しようとしていると思う。 ・人権学習のテーマの1つにし、学年全体で学べるようにしている高校も少なくない。それにともない、教職員研修を実施する必要性が生じている。 ・生徒が相談できる体制という意味では、現状は不十分であろう。例えば、LGBTの講演会のあとで、講師との座談会を開催し、気になる子が集うというのも相談の機会の提供であろう。外国児童には対応できるスクールカウンセラーがいるように、性の多様性に対応できる専門のスクールカウンセラーがあってもいい。ハードも伴うが、相談しやすい空間づくりも重要である。 ・トイレ、更衣室などもハード面であるが、ここも変わっていかないとということもある。 ・学校は、カミングアウトができる（しやすい）環境をつくっていくことが重要である。 ・県としてパートナーシップ制度の導入をしないのか。導入がされれば、見える化され、ロールモデルが示されることになり、子どもたちにわかりやすく、教育も変わってくると思う。制度が社会の空気感を変えていくと思う。